



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成18年 4 月号
No.179

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

京都府知事選挙山田氏、再選を果たす



再選を果たし、二期目の府政への決意を語る山田知事

共産党候補を寄せつけず

3月23日告示された京都府知事選挙の投票が4月9日に行われ即日開票の結果、現職の山田啓二氏(自民・公明・民主・社民各党推薦)が、新人の衣笠洋子氏(共産党推薦)に24万票以上の大差をつけて圧勝し、一期4年の山田府政の実績が府民の各界・各層に評価された。

前回の選挙は、保守が分裂したうえに、山田氏が新人で、知名度不足だったこともあり、共産党推薦候補を交えての三つ巴の激しい争いとなったが、今回は、山田氏と共産の衣笠氏の一騎打ちとなったため、山田陣営としては、山田府政改革の更なる推進のために、圧倒的な勝利を収めることを目標に取り組んだ。そのため、浮動票を取り込むために、投票率の上昇が大きな課題となった。

しかし、告示前から、山田候補の勝利は間違いないとの楽観的な見方が強く、山田陣営に緊張感が今ひとつ欠ける一方で、衣笠陣営も、敗北は覚悟の上で、共産党の幹部すら、次の統一地方選挙と京都市長選挙に照準を合わせているとの噂まで聞かれた。

さすがに、選挙戦が進むに連れて「府民と心かよつ女性知事」のポスターなどが目立ち始め、衣笠候補の知名度が高まるにつれて、山田陣営にも警戒感が出て、中盤から終盤にかけて引き締まった選挙戦が展開された。

今回の選挙で、山田氏は人間中心の府政の推進を訴えた。京都府には今なお南北間格差があり、府域の均衡ある発展をはかることが必要であり、しかも厳しい経済環境の下、経済弱者・生活弱者に目配りした、きめ細かい施策が求められている。山田氏の二期目に大いに期待したい。

恒心

故高坂正堯京大教授の愛弟子で、外交・防衛問題では与党、野党を通じて自他ともに第一人者であると任じていた、前原誠司氏。

43歳の若さで民主党の代表となり、若さと行動力、しかもトップダウンの手法で民主党をリードし、党の体質までも転換させるのではないかと期待されたが、わずか6ヶ月余りの短命で代表の座を明け渡す羽目に陥った。しかし、誰のせいでもなく、永田議員が入手したという送金メールを党として十分な調査もせず、永田議員の言葉を信じ込んで本物であると主張した前原代表の責任は大変重い。しかも、民主党は今の永田議員を除名も出来ず、永田議員自身は、自らの責任の重さも自覚せず、議員辞職をあくまで拒んでいた。前原代表の指導者としての力量が問われるのも当然である。前原氏自身、代表の座を潔く思い切つて辞任するものと思っていれば、まことに歯切れが悪く、居座りの様子さえうかがわれ、最後は孤立無援で、万事尽きての退陣との印象を与えた。今通常国会はいわゆる4点セット問題で、野党第一党である民主党は存在感を充分に発揮するチャンスであった。しかし、送金メールが偽物であると民主党が正式に認めてから、国会の論議は誠に低調で、自民党の一人相撲になった感じがする。民主党は自ら墓穴を掘ってしまった。日本の政治は与党と健全な野党が切磋琢磨することによってうまく機能する。民主党が、新しい党首になった小沢一郎氏によって劣勢を挽回し、自民党をおびやかすような存在になり、日本の政治をぜひ活性化してもらいたい。

参議院総務委員会 二ノ湯議員、地方交付税・NHKで質問

NHK

3月30日、NHKの平成18年度予算・事業計画を審議する総務委員会で、二ノ湯議員は、質問に立ちNHKの橋本会長及び理事に対して質問した。NHKの質疑は、録画ではあるが、最初から最後まで全質問者の質疑の場面が中継されるために、多くの議員が質問を希望する。自民党の割当時間は10分で質問者は6人いたために、二ノ湯議員の持ち時間はわずか15分であった。しかも、順番が6番目と最後なので、先の議員と質問項目が重ならないようにするために、15分であっても、6〜7項目の質問を用意しなければならなかった。二ノ湯議員は、用意した質問の中で、次の3点について質問した。①NHKは受信料収入の回復をはかり、公平・公正な立場に立ち、いかなる権力や団体にも左右されない編集権を確立し、国民に必要な情報や各種様々な番組を提供するべ

きである。②NHKの受信料収入の中に占める収納費(受信料を集めるための費用)が、収入の12.7%になっている。多すぎるのではないか。自動引き落しの世帯を増やすなどしてもっと経費の削減に努力をすべきだ。③年末恒例となっている大晦日の紅白歌合戦は、少し派手すぎるのではないか。司会者や歌手の選考基準もあいまいだ。歌手が歌唱力を競うというよりも、むしろ派手な衣装や馬鹿騒ぎの応援団が目立ちすぎるのではないか。NHKの橋本会長以下、理事者側の答弁は、決して満足のいくものではなかったが、二ノ湯議員もNHKに対しては、初めての質問であるので、今回は深追いをしなかった。なお、当日深夜11時から朝方4時過ぎまでNHKの2チャンネルで中継されたが、多くの方々から、番組を見ましたとの便りが事務所に寄せられた。



地方交付税

平成18年度の地方交付税について審議している総務委員会の予算委嘱審査で3月22日、二ノ湯議員は自民党を代表して、質問に立った。二ノ湯議員の質問は今回で二回目であるが、質問となると議事録に残るため、事前によりかなり勉強をしなければならぬ。他の議員の質問を聞いてみると、なかなかしつかりした論旨で、高度な事を話題にしているの、多少引け目を感じるが、地方議員時代に経験、体験したことを市民の目線に立つて質問することが、二ノ湯議員の持味であると考え、関西弁も交えながら質問をした。二ノ湯議員の質問の主な骨子は次の通りである。

①国も地方も大変な財政難である。二〇一〇年初頭に、国、地方において、基本的財政収支の黒字化という目標は本当に達成できるのか。地方の財政を健全化するためには、歳出の抑制をはかる必要があるが、自治体は市民へのサービスをどの程度まで責任を持つ必要があるのか。②自治体は生活弱者、経済弱者の立場に立って、行政を進めていく必要がある。地方自治体の独自の福祉施策までが、否定されてはならない。③地方の自治体経営の病院では、小児科や産婦人科の医師の確保が大変難しくなっている。少子化対策の上からも、小児科・産婦人科の医師確保のために、自治体病院への財政的援助が必要である。④地方分権推進法が成立したものの、地方への財源譲渡は今なお不十分である。真の地方分権が確立し、国と地方が対等・平等になるために、更なる税源移譲に向けて努力してもらいたい。



「真の地方分権のために更なる税源移譲を求める二ノ湯議員」

安倍官房長官を囲んでの昼食会

小泉内閣の官房副長官として活躍している鈴木政二参議院議員は、平成16年夏の参院選挙で当選した議員を順次官邸に招き、議員の生の声を聞くために、昼食会を開催している。去る3月10日二ノ湯議員は同僚の秋元司議員、藤野公孝議員と官邸を訪ね、副長官を囲む昼食会に出席した。運良く、安倍官房長官も時間がとれて五人の議員がカッカレーを食べながら世間話に花を咲かせた。多忙をきわめている安倍官房長官であるが、大変元気づいた様子であった。



「安倍官房長官を囲んで 左端、二ノ湯議員」

一日も早い介護福祉士の招へいを 人材議連・杉浦大臣に陳情

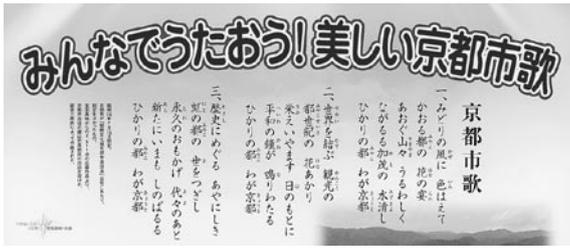
老人介護施設にフィリピンから介護福祉士を招へいしようと努力している外国人材交流推進議員連盟では、一気に動きを加速させようと議連の中村博彦参議員(議連・事務局長)、西銘順志郎衆議員、二ノ湯智参議員の3人が、去る3月9日、杉浦正健法務大臣を法務省に訪ねた。大臣はフィリピンからの介護福祉士の受け入れ問題については、深い関心を持っており、「フィリ

ピン人は大変真面目で仕事熱心である。特にフィリピン女性は家族思いで親元にお金を送金する。フィリピンの国民所得の3分の1は海外での出稼ぎによる送金である」と述べ、受け入れを前向きに検討したいと答えた。日本の老人施設では日本人だけでは働き手が十分に満たされず、今後人手不足が深刻化し、施設の稼働力が落ちるのではないかと心配されている。したがって、フィリピン政府と日本政府との間で取り交わしたFTA(自由貿易協定)交渉を早急に実現し、外国からの人材受け入れを促進する必要がある。



「杉浦法務大臣に陳情する議連のメンバー」

京都市歌で郷土愛を 市教委、今春から取り組み



自立心、道徳心、愛国心を持った青少年の育成は極めて重要であり、そのためには国を愛する心、郷土を愛する心の子供たちに育むことが大切です。二ノ湯議員は、

市会議員 時代、市 議会はじめ 様々な 場面でも 子供たちが しっかりと 元気よく、国歌 「君が代」 を歌える ようにと 提言して きた。京

都市では二十年前、学校の入学式等での国歌斉唱率が沖縄に次いで低かったが、現場の責任者である校長先生方と教育委員会の懸命の努力結果、すぐに大半の学校で国歌が斉唱されるようになり、六年前から全校で国歌斉唱が実施されている。政府のお膝下で、しかも石原知事をいただいている東京でも、いまだに国歌斉唱をめぐる紛糾している。二ノ湯議員は国を愛する心の基は郷土を愛する心であるとの信念から、これまでから国歌とともに京都市歌を子供たちに、ぜひ歌ってもらいたいと提言を続けてきた。京都市歌は、山紫水明の京都の情景を織り込み、世界を結び、永久に光輝く京都であることを願う素晴らしい市歌である。京都市教委は、当初市歌は、子供たちが歌うのには難しいのではないかと心配していた。しかし、各方面からの要請により京都市教育委員会では二年前に教材として、

「新政経懇話会」入会のお願

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所
☎075-315-2228

子供たちがより親しみを持ち、歌いやすいように編曲したCDを配布して取り組みを始め、この度、親しみを持って市歌を歌おうという機運を盛り上げるためのポスターを作成した。子供たちが、自分達が生まれ、育った地域を愛し、誇りに思うためにも、国歌とともに京都市歌が教育の場で果たす役割に大きな期待が寄せられている。

渡辺さん 堂々と初当選 伏見区、府会補選

京都府知事選挙と同時に執行された伏見区の府会議員補欠選挙で、新人の女性候補渡辺邦子さんが、接戦のすえ、初当選を果たした。清水鴻一郎氏の衆議院転出にともない、空席となっていた議席に自民党、社民党、共産党の公認候補3人が立候補した。渡辺さんは、地方議員選挙で、自民党京都府連が初めて公募方式で選考した候補者。しかも自民党の空席であり、自民党としては絶対に議席を確保しなければならぬ選挙であった。伏見区選出の府会・市会議員はもとより、清水鴻一郎衆議院議員も渡辺氏のために全面的な支援態勢をとった。共産党の強い地域だけに、渡辺陣営は危機感をつのらせ、候補者を先頭に、必死になって頑張った。当日の投票率は31.64%と低く、渡辺さんの当選が危ぶまれたが、追いつがる共産党を振り切り一一六〇六票差で渡辺さんが当選した。



「当選を喜ぶ渡辺さん」

二ノ湯議員 東奔西走 知事選・伏見区補選

国会開会と重なったため、国会議員は、山田候補を応援する時間がなかなかとれなかった。二ノ湯議員は自民党京都府連の副会長という立場上、国会日程の合間を縫って個人演説会に積極的に顔を出して山田候補への支持を訴えた。網野町・久美浜町の個人演説会にも出向き、計12ヶ所を回った。また、伏見区の府会補欠選挙にも応援に駆けつけた。参議院議員の場合、京都府全域が選挙区のため、活動範囲が広くなり、東奔西走の選挙応援となった。



「宇治市の個人演説会で支持を訴える二ノ湯参議員」

身边雑記

一、かつて野球少年だった私も、今の日本のプロ野球には、興味を失くしている。しかし、先のWBCだけはテレビの前にかじりつき観戦した。国の名誉を背負っての真剣勝負は、見ごたえがあった。

一、国の借金べらしに躍起になっている自民党の政府資産圧縮プロジェクトチーム。一等地にある宿舎を売却する方針で検討している。しかし、深夜まで働かせて、自宅が遠くになれば、一体どうして家へ帰るのか。每晚何万円もかかるタクシー代を国が負担するのか。もう少しじっくりと考えた方が良さそうだ。

一、17票差で勝利した中川圭一南丹市長。選挙違反で逮捕され辞任する羽目となった。折角手にした市長の座。残念無念の気持ちであるうが仕方がない。再選挙は、助役と収入役の戦い。穏やかで、肅々と実施されることを望む。

一、東京でタクシーに乗ると多くの運転手は道を知らない。乗客も東京が不慣れの人が多い。従って、同じ目的地でも、運転手によって数百円の差がつく。規制緩和が行きすぎて道を知らない運転手が増えた。問題である。

一、政治家は毎日忙しく、どたばたの連続である。そんな中で気分が落ち着くのは、新幹線に乗って新聞を読みながらコーヒーを飲む時。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料 1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会
— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話 075-315-2228
ホームページを開設いたしました
<http://www.ninoyusatoshi.com>

第157回 みんなで歩こう湯歩会(参加者50名)



雨の中、井出町・橋本橋にて

去る3月16日、綴喜郡井手町多賀にある日蓮宗の真蔵院の檀家の方々39名が国会見学に訪れた。あいにく、二ノ湯議員は、総務委員会開会中の為、国会内を一緒にまわることはできなかったが、国会正面での写真撮影に参加した。

新緑の季節、 国会見学者増える



第158回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：4月23日(日) 小雨決行
- ・出発時刻：午前9時(時間厳守)
- ・集合場所：地下鉄九太町駅1番出口(交番所東)
- ・コース：交番所→京都御所内閑院宮邸跡見学→寺町御門→荒神橋→鴨川西岸→糺の森→賀茂川東岸→北大路橋→府立植物園南入口→植物園内→植物園北出口解散
- ・建物修復完成後の京都御所内閑院宮邸跡を特別拝観して、遅咲きの桜花がすばらしい遊歩道と、花と緑にかこまれた植物園内をゆっくり散策します。植物園入園料は200円です。京都在住の60歳以上の方は無料です。敬老乗車証等、証明できる物を必ずご用意下さい。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758 (当日)090-1140-4964

歩くことは
健康の基本

夏まつりのご案内

日時 8月1日(火)

場所 ホテルグランヴィア京都
(JR京都駅ビル内)
3階宴会場

お一人様 5,000円
(入場料、会場内ご利用券)

詳細につきましては、後日ご案内いたします

二ノ湯さとし京都事務所
TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

